

大阪南港に舞い降りた巨大な鳥

アジア太平洋トレードセンター(ATC)

いながらにして、世界のショッピングが楽しめる。



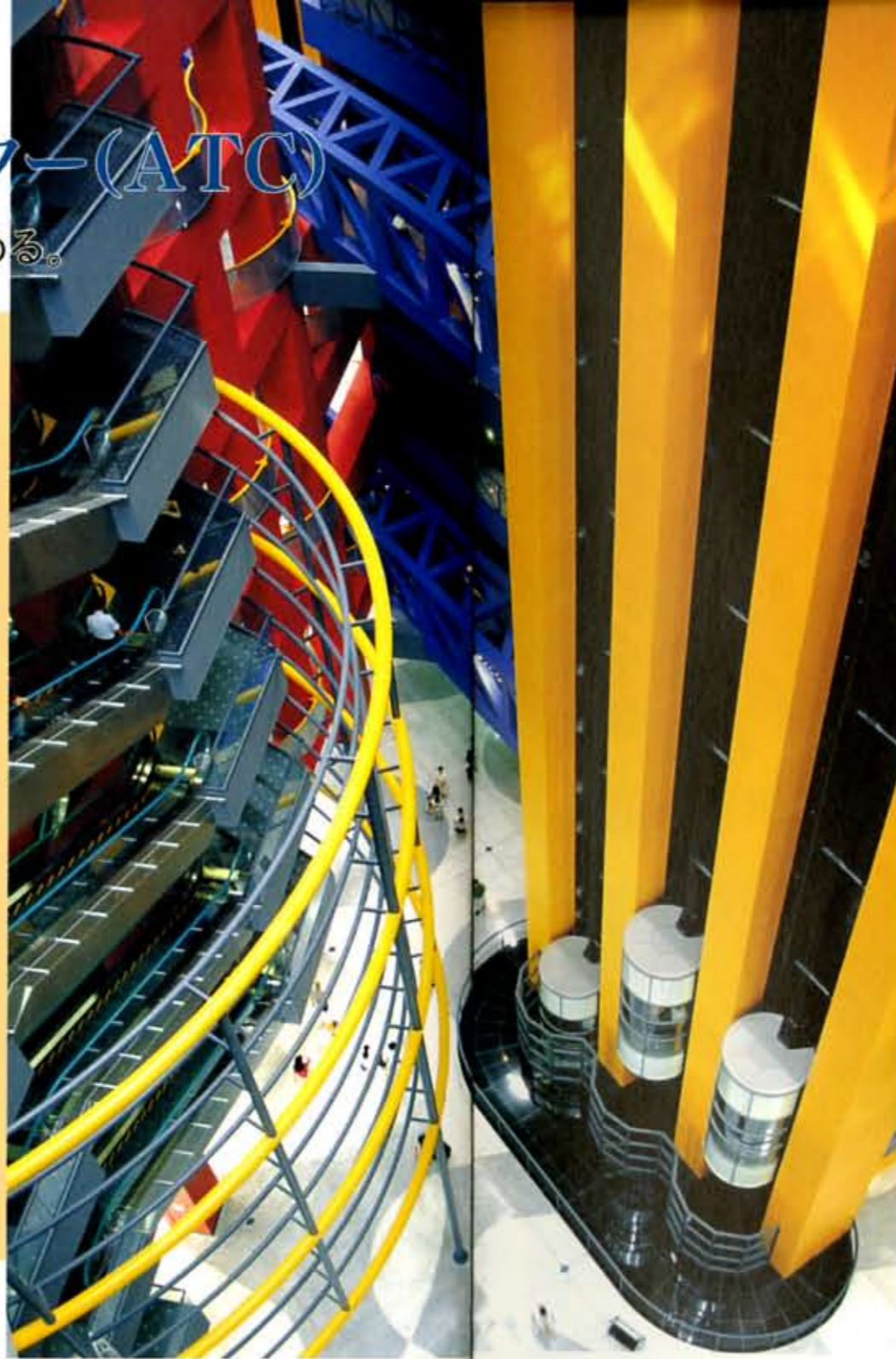
アジアと世界にはばたく 国際情報発信基地「ATC」

日本中から今、もっとも元気がある都市圏として注目を浴びているのが関西。なかでも、本格的な24時間空港としてオープンした関西国際空港のお膝元、大阪南港にすごいビルが建ちました。ATC(アジア太平洋トレードセンター)なんですけど、さすが、その名に恥じない充実ぶり。エントランスを一步中に入れば、そこはもう大阪であって大阪じゃない。日本ということさえ忘れてしまうワールドワイドな世界!

ATCは、建物の長さか590メートル、一部12階建てで延べ床面積33万5千平方メートル。と、数字を並べるよりも、一目見るほうが早い。とにかく大きいんです!

12階建ての建物はITM(インターナショナルトレードマート)棟と呼ばれ、ファッション、ジュエリー、スポーツ・レジャー・ギフト、デザインセンターの4分野からなる国際卸売マートや、ハイビジョンを駆使した情報遊園地「ATIO」などが入っています。なかには、一般に開放されたアンテナショップもあり、世界のファッションを買ったり、イベントを楽しんだりできます。

さて、もうひとつの鳥の翼のようなながーい建物が「O'S」棟。ここには、アジアをはじめとして世界のファッションやインテリア、雑貨、料理など、楽しいことが満載!



世界のワクワクが楽しめる エキゾチックオアシス「O'S」

「O'S」(オズ)というネーミングには、「大阪が生み出す複数の創造物」という意味が込められているそうで、ATCの「楽しさ発信基地」というわけですね。さっそく、「オズ」を探検してみましょう。

星座の天井がロマンチックな「星の広場」や、滝のある広場、フレスコ画風の壁画や、アメリカンデコ風の壁画…。建物の細部にいたるまで、すっごくおしゃべり。「オズ」を一言で表現するならば、さっきの数字をお借りして、33万5千平方メートルの巨大スペースに世界中のワクワクをたっぷり詰めこんだ「エキゾチックオアシス」でしょうか。とくに雑貨類の豊富さは、見ているだけでも楽しい。世界中の色とりどりのガラスが集めた「ガラス館」では、時のたつのも忘れてしまいました。

豪快ブラジル料理 シュハスコ食べ放題!

バラエティな気分を満喫したあとは、いま話題の「シュハスコ」を食べに、「オズ」の中にあるブラジル料理の「ラッサドール」へ直行!

「シュハスコ」って知ってますか?太い串に刺した大きな肉の丸焼きを、ナイフで直接お皿にそぎ切ってくれるのをいただく、大胆かつ素朴な料理。噂には聞いていたんですが、今まで食べる機会がなくて…。さあ、きょうは憧れのシュハスコをたっぷりいただくぞ!

シュハスコはもともとカウボーイたちが一日の仕事を終え、疲れた体をやすために食べた料理。牛や羊のまるごと一頭を真ん中でふたつ割りにして焼きながら、塩だけで味付をして焼けたところから切り取って食べるとか。アベリティブは、ブラジルの地酒ピンガやマテ茶。ブラジルの大自然の中で、食べるほどに酔い、酔うほどに食べ、といったカウボーイたちの食事風景が想像されます。そんなダイナミックな味わいと陽気な雰囲気がラッサドールには再現されています。では、私も、ひとときブラジリアンの気分になって、サウジ!(乾杯)

レポーター●下田 久仁子



24時間空港・関西国際空港の開港を

OSAKAは今や、アジアをはじめ

世界中から熱い視線

国際都市・大阪にふさわしく、アジア太平洋

「アジア太平洋トレードセン

きょうは、大阪南港コスモスクエアに

いまいばん熱いOSAK

機に、がぜん活気づいている関西。

めとする世界への玄関口として、

を集めています。

地域の貿易拠点として建設されたのが

「アジア太平洋トレードセン

ター(ATC)」です。

Aをレポートします。

